

天野勝則さんの寄稿に当たって

水環境再生山陰ネットワーク会議代表 今井 聖造

私が、この江川の鮎漁師天野勝則さんの原稿を読ませていただいたのは、平成25年頃のことです。一読して、これは、今後鮎漁を志す人の貴重な手引書になるとともに、江川の漁労文化として後世に伝えなければならないものと思いました。ただ、技術編については、挿絵や詳細図を付ける必要があることから、適任者をいろいろ探しましたところ、やっと一昨年9月になって、江川の水質浄化活動の関係で偶然お目にかかった安芸高田市の熊高昌三氏のお嬢さん「くま えみこ さん」を紹介いただいて挿絵作家が決まりました。えみこさんには、遠方にお住まいにもかかわらず、特に技術編の編集と挿絵に精力的に取り組まれ原稿が完成したものです。そこで次に、出版についてどのようにしたらよいかと、元島根県教育長の藤原

義光氏に相談したところ、島根県西部県民センターの神在所長をご紹介いただき、水産技術センターに相談に行くようにとアドバイスを受けました。早速村山達朗所長にご相談したところ、水産技術センター発行の研究レポートに寄稿してはどうかと仰っていただきました。また、レポートが完成するまで、担当いただいた内田浩主席研究員には、原稿の修正、編集にたいへんお手数をわずらわせました。このように、多くの方にご支援、ご協力をいただいて原稿が完成し、レポートとして後世に伝えることができたことは望外の喜びで、お世話になった皆さんに心から感謝申し上げます。本当に有り難うございました。